

<研究テーマ>

自己肯定感を高め、豊かな感性と表現力を育む
～友達と一緒に楽しむ子を目指して～



集団遊びを
楽しんでいるよ！



ばら組での生活にも慣れてきて、それぞれ友達と誘い合いながら好きな遊びを見つけて楽しむ姿が見られてきた子どもたち。みんなで遊ぶ楽しさも感じられるように、集団遊びを取り入れています。“むっくりくまさん”“バナナ鬼”“転がしドッジボール”“警察ごっこ(けいどろ)”など簡単なルールのある遊びを経験しながら、悔しさや楽しさを味わっています。遊びのルールがわかってきたところで、最近では子どもたちと「何をしようか？」と相談して決めています。自分の意見を伝えたり、友達の思いを聞いて折り合いをつけたりしながら子どもたちで遊びを進められるようにたくさん経験していきたいと思います。



転がしドッジボール

ボールに当たらないように素早く逃げたり、動きを予測して避けたりすることが必要です。当たったら鬼になってボールを転がします。思うようにいかず「鬼になりたくない！」「ボールを転がしたい！」と悔しい思いをしながらも、ルールを守りながら遊ぶ姿が見られています。

バナナ鬼(氷鬼)

ルールは簡単！鬼に捕まったらバナナ(氷)になって固まって仲間が助けてくれたらまた逃げることができます。一つアクションがあることで捕まっても自然と笑顔になってしまいます。捕まるとすぐに友達が「タッチ！」と助けに来てくれるところもこの遊びのポイントです。

バナナ！



ぶつからないように避けたりブレーキをかけたりできるようになってきたよ！

タッチ！
逃げていいよ！



「スイカ鬼はどうか？」「ぶどうもいいね！」とアレンジのアイデアもたくさん出ておもしろいです。



ありがとう！